

富士吉田口登山報告(吉田浅間神社から)

【日時】 2017. 8. 23(水), 24(木)

【参加者】 菅井(車) 八角(報告)

【コース・タイム】

8/23(水) 貝塚 IC4:35-6:50 富士北駐車場-吉田浅間神社 7:25-8:45 中の茶屋 9:10-
-10:10 馬返し 10:35-13:40 佐藤小屋 14:05-14:40 五合目駐車場 15:10- 15:30 奥庭荘

8/24(木) 奥庭荘 5:05-5:15 駐車場 5:30-6:07 六合 6:20-七合 7:30-9:00 八合-
-10:45 九合-11:50 頂上

頂上下山口 12:50-13:55 八合目-16:00 六合目-17:00 駐車場 18:00-18:40 富士北駐車場

【報告】

雨が長く続いた後の短い晴れ間の富士登山でした。夏山登山最後、ウイークデイにもかかわらず五合目からは多くの登山者が山頂を目指していました。

吉田口登山道は、富士スバルラインができるまでは山梨県側のメインルートです。今回最後の富士登山と思いながら吉田口浅間神社から登山を開始しました。国道沿いの鳥居をくぐり静かな境内を進むと本殿では白袴と橙衣装の若い巫女たちが開院の準備に走り回っていました。山に謙虚に向き合うことを心して、登山の安全を祈願しました。(ちば山の安全で楽しい登山も!)

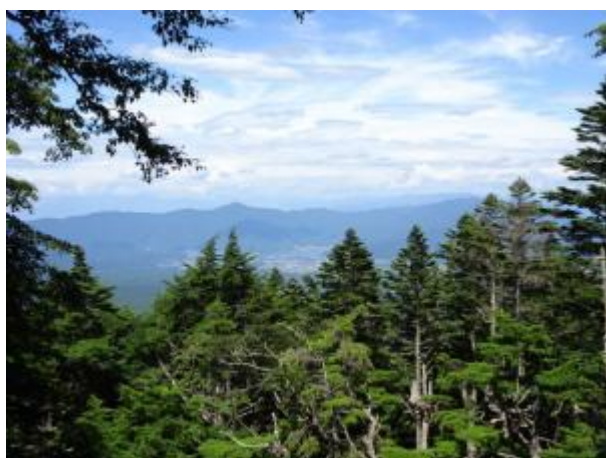


浅間神社から馬返しまで、われわれ2人だけです。中の茶屋に向かう途中、後から来た車から、馬返しで待ってますよー、と突然声をかけられました。中の茶屋からはみどりの遊歩道です。途中、食べられそうな赤松の根元の茸、名前不明の真っ赤な大粒の野いちごを足下に見ながら馬返しに向かいます。馬返しの駐車場を通り過ぎて、吉田登山口を前にすると、石段の左右には燈籠がいくつも立ち、脇には昔の茶屋がそのまま保存され利用されています。登山口と

いうよりも神社に向かう山道の入り口です。車から励ましの声をかけてくれた人が、ボランティアで登山者をトマトと冷たい富士の水で迎えてくれました。



一合目は、登山口を少し登ったところにあります。五合目の佐藤小屋まで、それぞれの合目で廃屋になっている茶屋が保存され、明治から昭和19年頃までの様子が写真で標示されています。多くの登山者でにぎわっていたことがうかがえます。二、三合目の茶屋は、たぶん人工的にだと思いますが河口湖方面の視界が切り開かれています。



五合目からの登山とは登山形態を異にしますが、一つのルートで、五合目までだけでも完結する登山ルートのように思います。いつかまた、景色を眺めながら、佐藤小屋のうまいラーメンを食べに行きたくなくなっていました。登山道としてはクラシックルートですが、格調のある現在も生きている立派な登山道です。神社からのスタートには、アプローチに多少工夫が必要ですが、馬返しから佐藤小屋まで、だれにもすすめられるハイキングコースです。下山は同じルートを下山するもよし、マイカー規制中はスバルライン五合目まで歩き、シャトルバスで下山するのも可です。

2日目、いつものように前日五合目で宿泊し(高所順応目的)、早朝に出発して、その日の下山です。頂上は西欧の登山者が目立ちます。五合目で入山料1,000円を払います。今年から六合目でヘルメットの貸与が始まったようです。五合目からは、周囲を眺めながらの情緒的な登山とはちょっと違い、あまり余裕のない正直体力勝負の登山でした。本八合目まで登ると体力的に先が見えません。昨年の失敗を菅井さんに励まされ、また、計画通り憧れのルート登山ができたのは天気も幸いしました。山行管理者に感謝申し上げます。

